



The bridge to possible

セキュア SD-WAN : ハイブリッド ワークフォースをマルチクラウド アプリケーションに接続して保護

Cisco Meraki テクニカル ソリューション アーキテクト 脇中 亮

Cisco SD-WAN セールス スペシャリスト 次藤 則兼

Cisco SD-WAN パス

Viptela および Meraki SD-WAN

利用製品

 Meraki

フルスタックブランチ管理によるITの効率化

利用製品

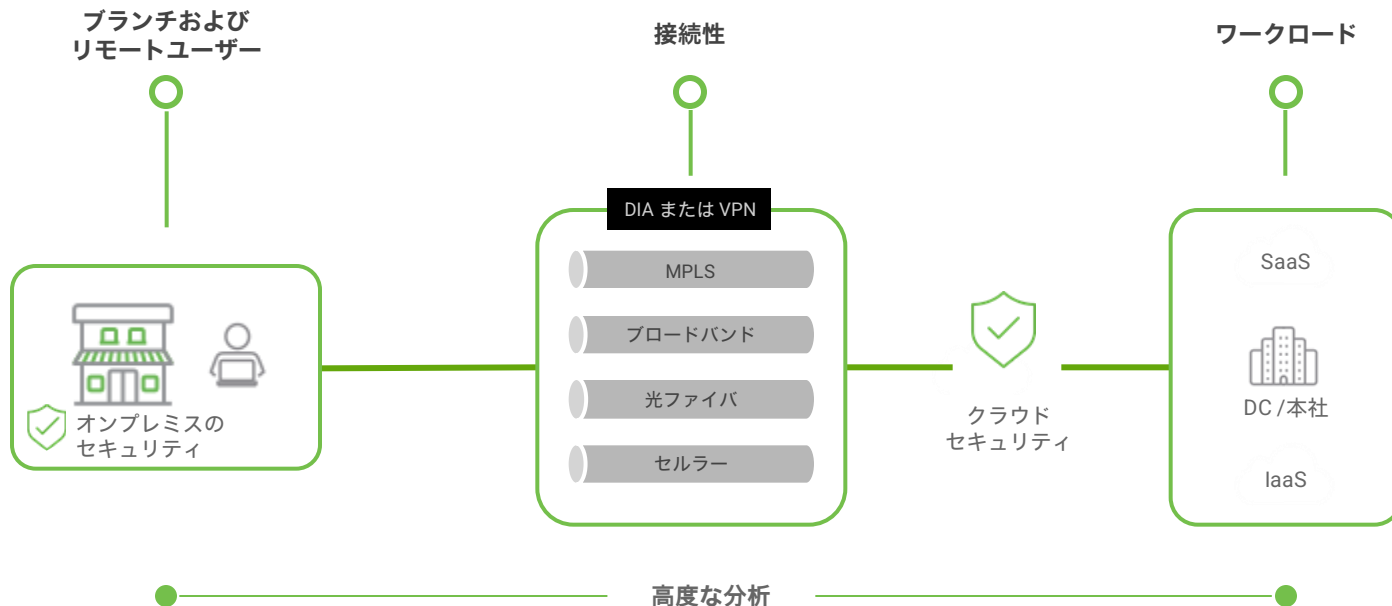
 viptela

セキュアなセグメンテーションと高度なルーティングで高い柔軟性と高機能を実現



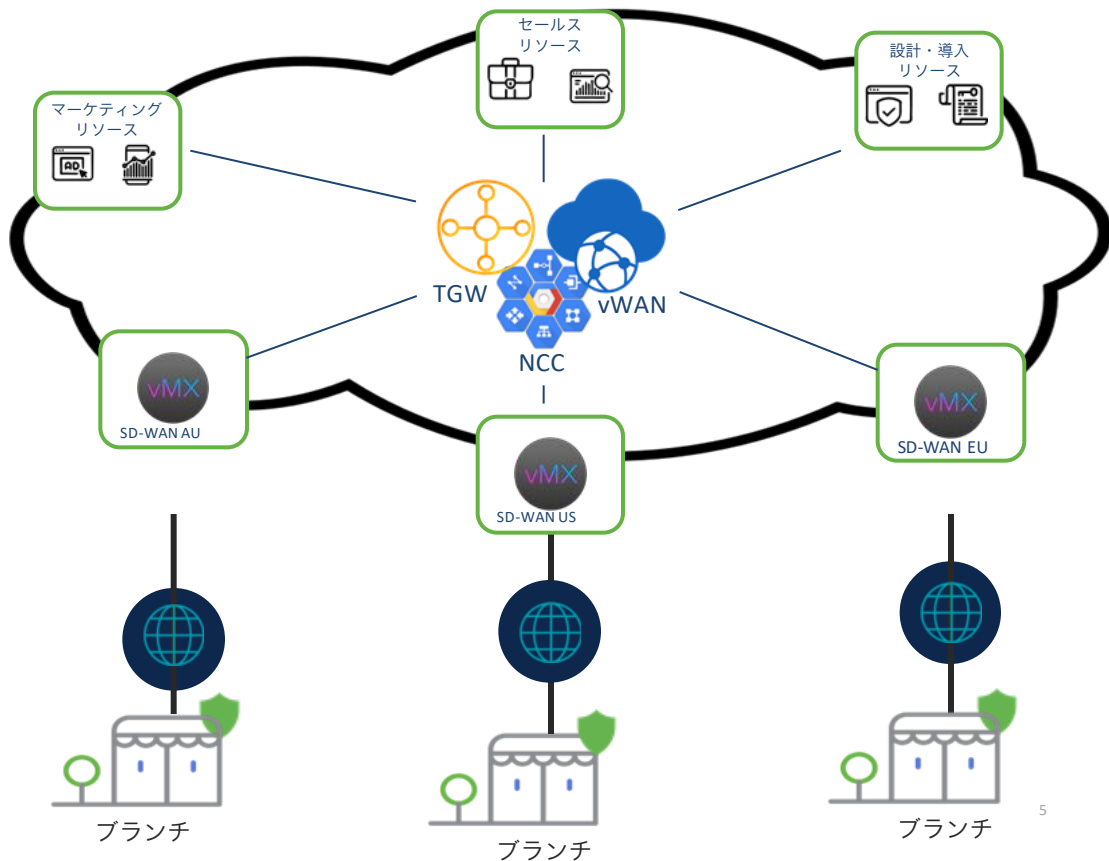
Meraki SD-WAN

どこからでも、どのようなワークロードでも セキュアで高品質なエクスペリエンスを実現

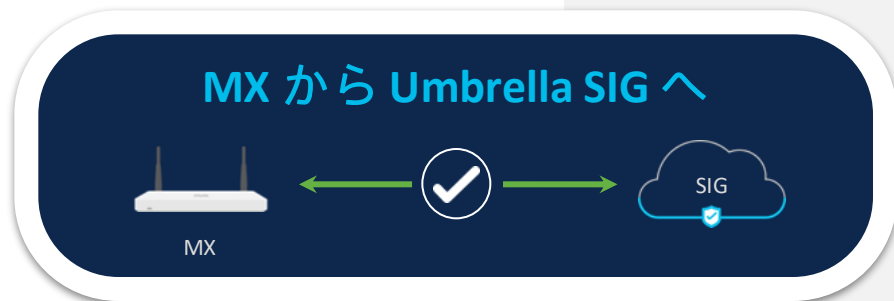


クラウドへの SD-WAN 接続を簡素化

- クラウド内の複数のリージョンで運用するお客様が増えている
- シスコの検証済みアーキテクチャは、以下を介してクラウドリソースへのさらに深い接続を実現
 - AWS Transit Gateway (TGW)
 - Google Network Connectivity Center (NCC)
 - Azure vWAN
- vMX を AWS Transit Gateway に自動接続



オプション 1



- MX を使用してビジネスクリティカルなトラフィックを Umbrella SIG に送信

現在提供中

オプション 2

- Umbrella SIG を SD-WAN ファブリックに統合

現在提供中

オプション 3 将来

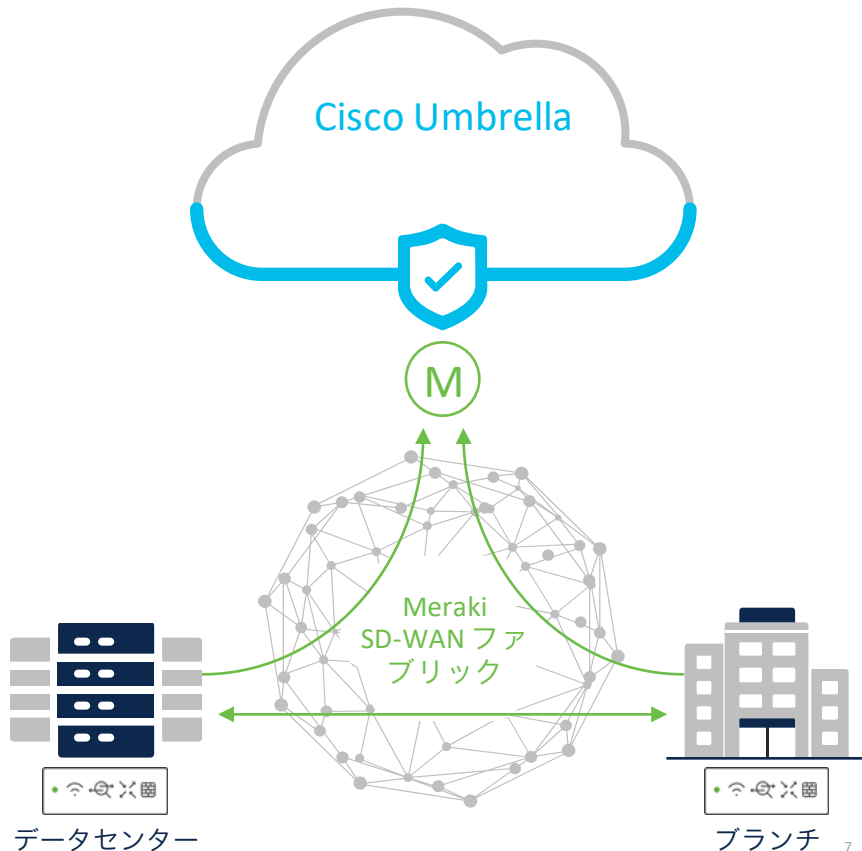
Cisco+
Secure Connect

- オプション 2 + リモートアクセス + Viptela インターコネクト + ZTNA
- Meraki ダッシュボードに組み込み
- サービスとして提供

まもなく提供

Meraki の SD-WAN を Umbrella クラウドに拡張

- Auto VPN で Meraki SD-WAN を Umbrella に直接接続
- 柔軟なセキュリティオプション (DNS またはより高度な SIG 機能)
- ネイティブ SD-WAN トラフィック エンジニアリング
- 新しい Meraki Umbrella SD-WAN コネクタにより、コストをかけずに、SD-WAN ファブリックでインテリジェントなパス選択が可能



Viptela SD-WAN

Cisco SD-WAN

「ネットワークのアジリティを向上させるシスコSD-WAN」

ソリューションの中核となるCisco SD-WAN導入実績:

- **日本国内および海外の製造業を中心に展開**
- **金融、ヘルスケア、公共機関など多くの業種、規模での実績あり**

Cisco SD-WANの役割 :

- **インターネット回線を利用したWANをより信頼性の高いものにする**
- **既存のWAN環境やDC利用を踏襲しつつ、インターネット回線をよりセキュアに利用する**
- **WAN内の通信をトラフィック種別ごとにセグメンテーションを行い、拠点-DC間、拠点間、拠点-クラウドインフラ間、拠点-IaaS間をセキュアに繋ぐ**
- **増加するIaaS/SaaSへの接続を行うためのトラフィック・アプリケーションの振り分け、最適経路の選択**
- **クラウドインフラを提供するクラウドサービスプロバイダーとの連携により、SDCI(Software-Defined Cloud Interconnect)を、さまざまな業種業態に提供**

Cisco SD-WAN プラットフォームポートフォリオ

ブランチ



ISR 1000

- 有線とワイヤレスの統合アクセス
- LTE Advanced

ISR1100-4G
ISR1100X-4G



- GE WAN ポート x4

ISR1121 / 1161



- 4G WWAN の着脱可能な柔軟性 (CAT6/18)
- 統合セキュリティ

ISR1100-6G
ISR1100-6G



- WAN ポート x6 (4GE, 2SFP)

Catalyst 8200/8300



Catalyst 8500



ISR 4000



- WAN/音声モジュールの柔軟な選択
- 統合セキュリティ
- UCS-E コンピューティングモジュール

ASR 1000



- ハードウェア処理による高パフォーマンス

アグリゲーション

クラウド



Catalyst 8000V

- エンタープライズルーティング、セキュリティ、管理対象をクラウドまで拡張
- Cisco DNA 仮想化



vEdgeCloud



Google Cloud



仮想化

Cisco ENCS



ISRv

Cisco Hyper Flex Edge



vEdgeCloud/CSR1000v

- サービスチェーンの仮想機能
- WAN 接続のオプション
- サードパーティのサービスおよびアプリを使用可能
- NFVIS ハイパーバイザ

ユースケース：エッジの保護

シスコの SD-WAN、Umbrella、Duo、ThousandEyes で実現できる機能

Connect (接続)



- ゼロタッチプロビジョニング、インテリジェントなパス選択、自動 Cloud onRamp により、ユーザーをマルチクラウド環境のアプリケーションに接続する、クラウド提供型 WAN アーキテクチャ

Control (コントロール)



- 安全で信頼性が高く、高速なインターネット接続を実現するクラウド提供型セキュリティ
- オンプレミス、クラウドベースを問わず、すべてのアプリケーションへのゼロトラストアクセス

Converge (統合)



- すべてのユーザー、アプリケーション、ネットワークから実用的なインサイトを取得してオペレータビリティを実現
- ネットワーキングとセキュリティの統合による迅速な導入とシンプルな利用

新たな標準である SASE に対応するための SD-WAN

マルチクラウドを最適化

ハイブリッドなワーク
フォースをあらゆる場所
のアプリに**接続**



Cloud OnRamp は、IaaS 統合、SaaS 最適化によるアプリケーション エクスペリエンスの強化、クラウドに依存しないブランチ接続を実現します。

ニーズに応じた
セキュリティ

どこからでもアプリや
データに**安全に**アクセス



セキュア SD-WAN を活用してオンプレミスまたはクラウドベースのセキュリティを確保し、必要なときに必要な場所で **SASE 対応** アーキテクチャを実現します。

インサイトを
活用した分析

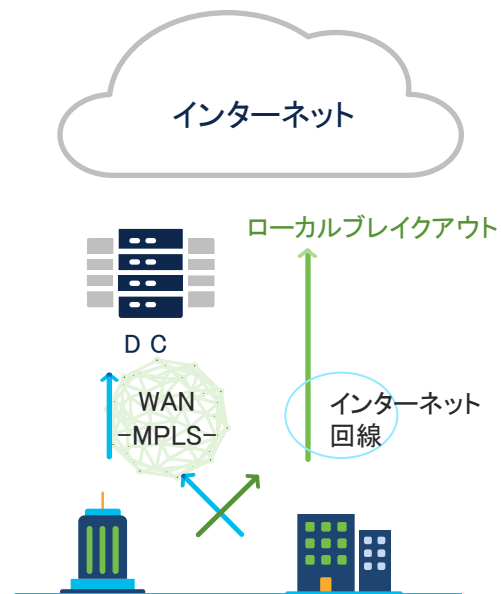
エンドツーエンドを**自動**
的に可視化



ThousandEyes は、アプリケーションの可視性をインターネットとクラウドにまで拡張し、実用的なインサイトを提供します。

クラウドシフトNetworkへの道のり

Local breakouts are not always the real solution

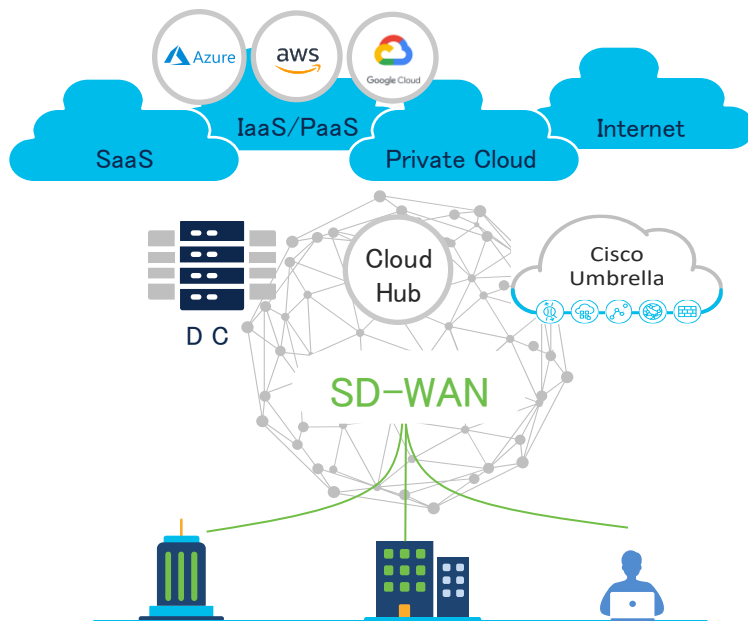


従来のブレイクアウト

WAN回線を圧迫していたトラフィックをインターネット回線に振り分ける。回線の利用は固定化。



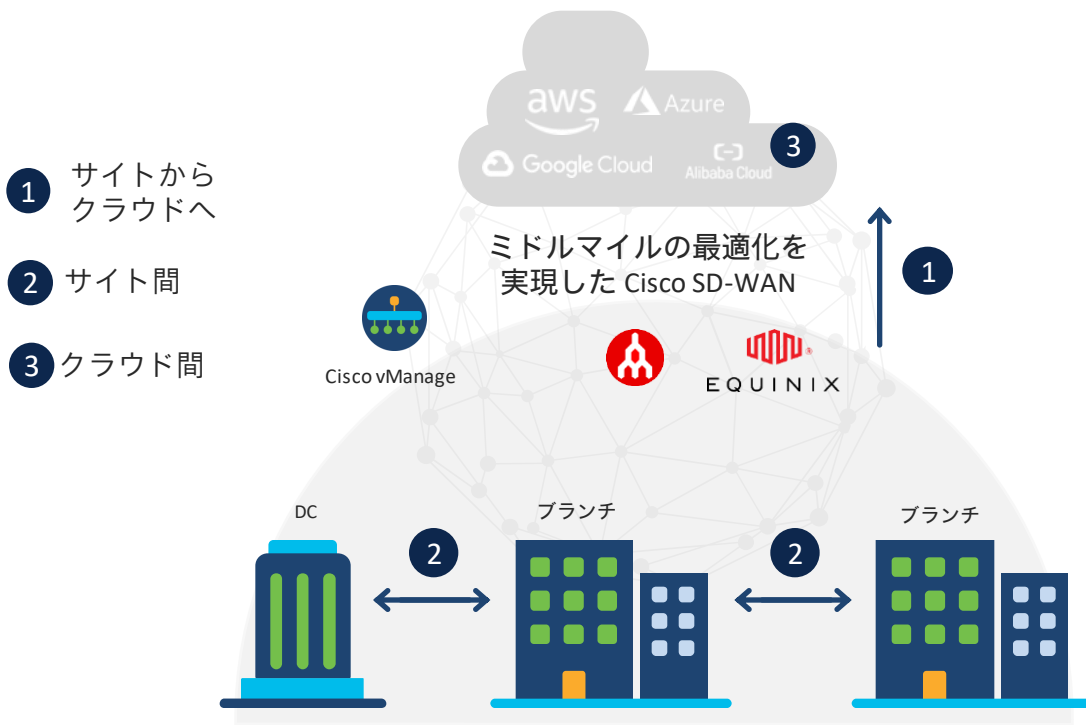
リモートワークは考慮されない



SD-WAN & SASEでのブレイクアウト

WAN回線を圧迫していたアプリケーションを、回線に依存せずにダイナミックに振り分ける。回線の利用は、用途や重要度に応じて設定するが、状況に応じて可変。

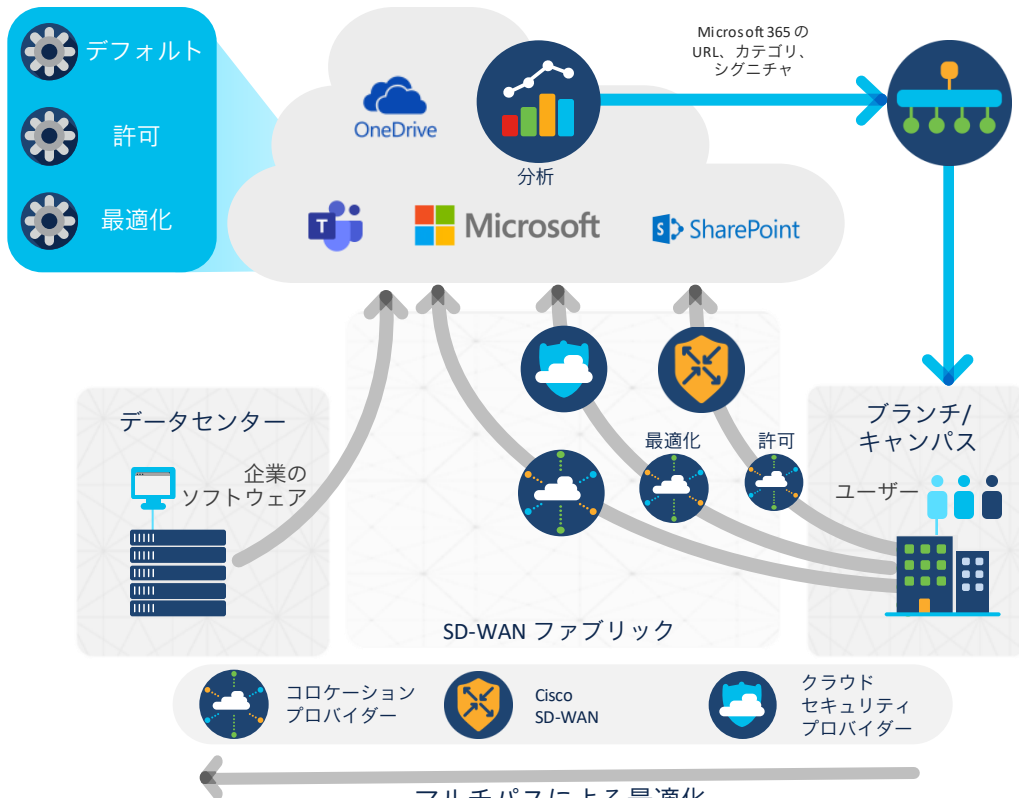
SD-WAN Cloud onRamp で、セキュアマルチクラウドとオンデマンドネットワークを実現



- ✓ フルスタック自動接続
- ✓ 顧客に標準化されたエクスペリエンスを提供
- ✓ 共通ポリシーフレームワーク
- ✓ vManageによるエンドツーエンドの可視性
- ✓ 柔軟な利用モデル
- ✓ 単一ベンダーによるエクスペリエンス

Cisco SD-WAN による Microsoft 365 の最適化

ユーザーエクスペリエンスの向上



Microsoft とのパートナーシップによる開発

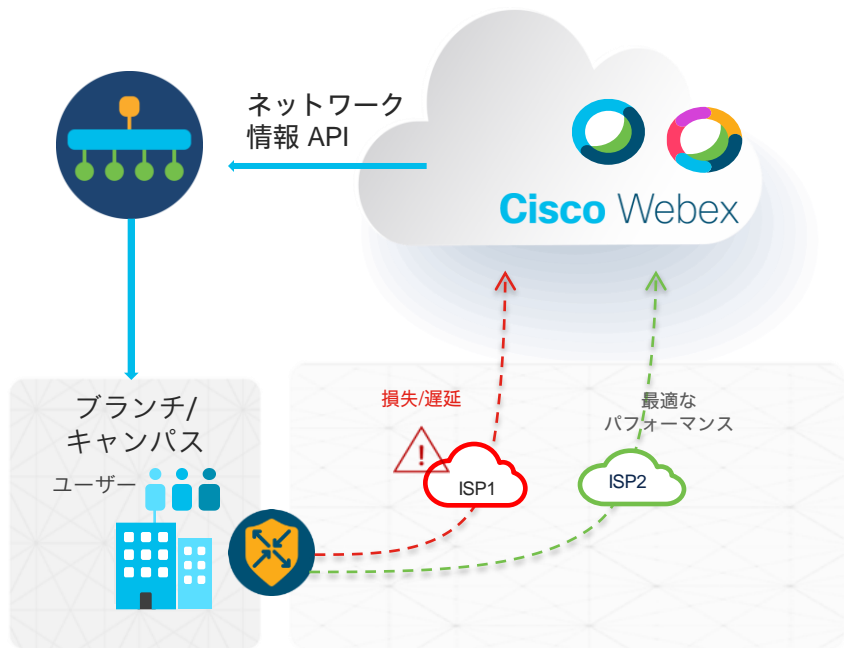
- SD-WAN ソリューションは **Microsoft Networking Partner Program** の認定を受けている
- **Microsoft 365 Informed Network Routing** (テレメトリ) をサポートする最初の SD-WAN ベンダー

最適な SaaS エクスペリエンス

- プロアクティブ リンク プロープによる最適なパス
- 選択
- TCO を抑えた大規模な最適化
- QoE メトリックの可視化
- テレメトリ交換による、アプリケーション認識パスの選択
- Microsoft 365 アプリケーションのクラスごとに設定されるきめ細かいポリシー

[Microsoft Networking Partner Program](#) [英語]
[Microsoft 365 ネットワークルーティング](#)

Cloud OnRamp for SaaS for Webex



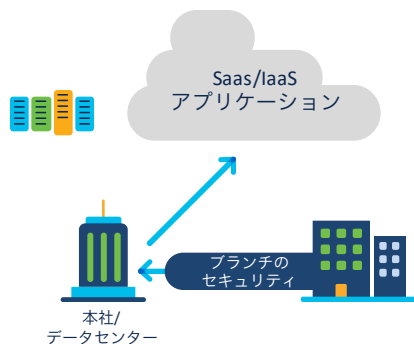
ベストパスの選択 (マルチパス最適化)

最適な Webex エクスペリエンス

- 利用可能なダイレクト インターネット アクセス回線を介して Webex のパフォーマンスを検出
- パフォーマンス メトリック (損失と遅延) に基づいて動的にベストパスを選択
- パフォーマンスが低下した場合は自動フェールオーバー

SASE への移行方法は選択可能

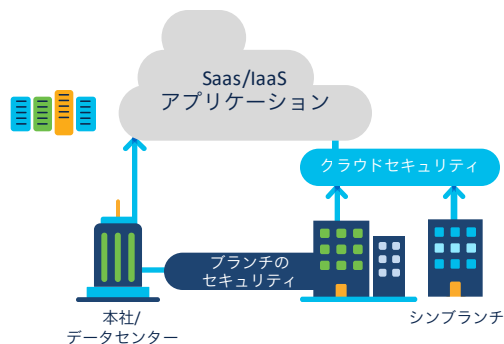
オンプレミスとコロケーションを
利用した SD-WAN



オンプレミスとコロケーションを
利用した SD-WAN

SD-Branch モデル
ルーティングとセキュリティ対策を
行うセキュアブランチ

SIG 統合とハイブリッドセキュリティを
備えた SD-WAN



SIG 統合を備えた SD-WAN

ハイブリッドモデル
クラウドセキュリティを備えたシンブランチ
ルーティングとセキュリティ対策を
行うセキュアブランチ

将来
サービスとしての WAN とクラウドセキュリティ



SD-WANaaS/SASE

WANaaS モデル
オンプレミスとクラウドセキュリティポリシー
が統合されたシンブランチとセキュアブランチ

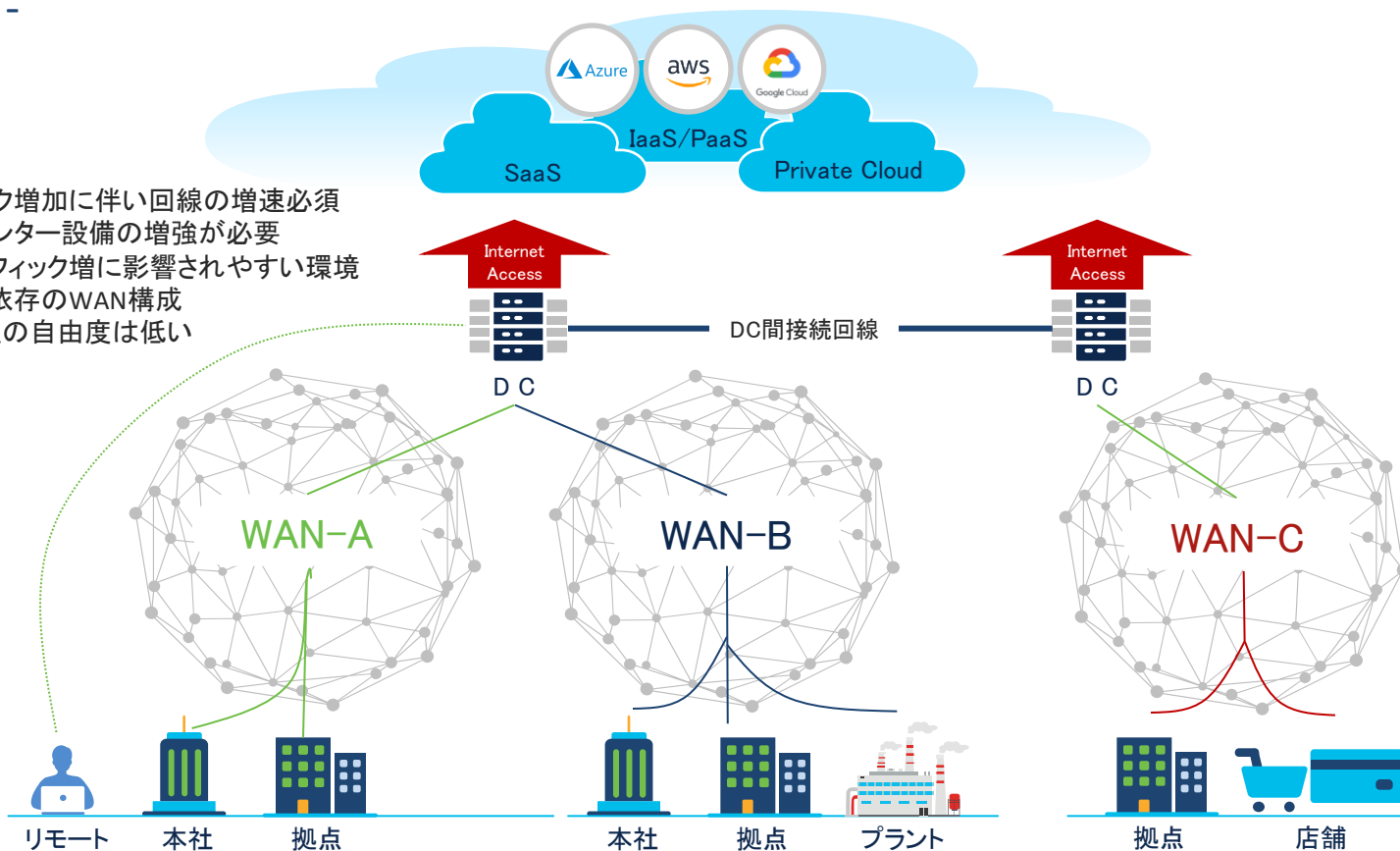
豊富な機能とシンプルな操作

Before SD-WAN & Umbrella SIG as a SASE

- 現状 -

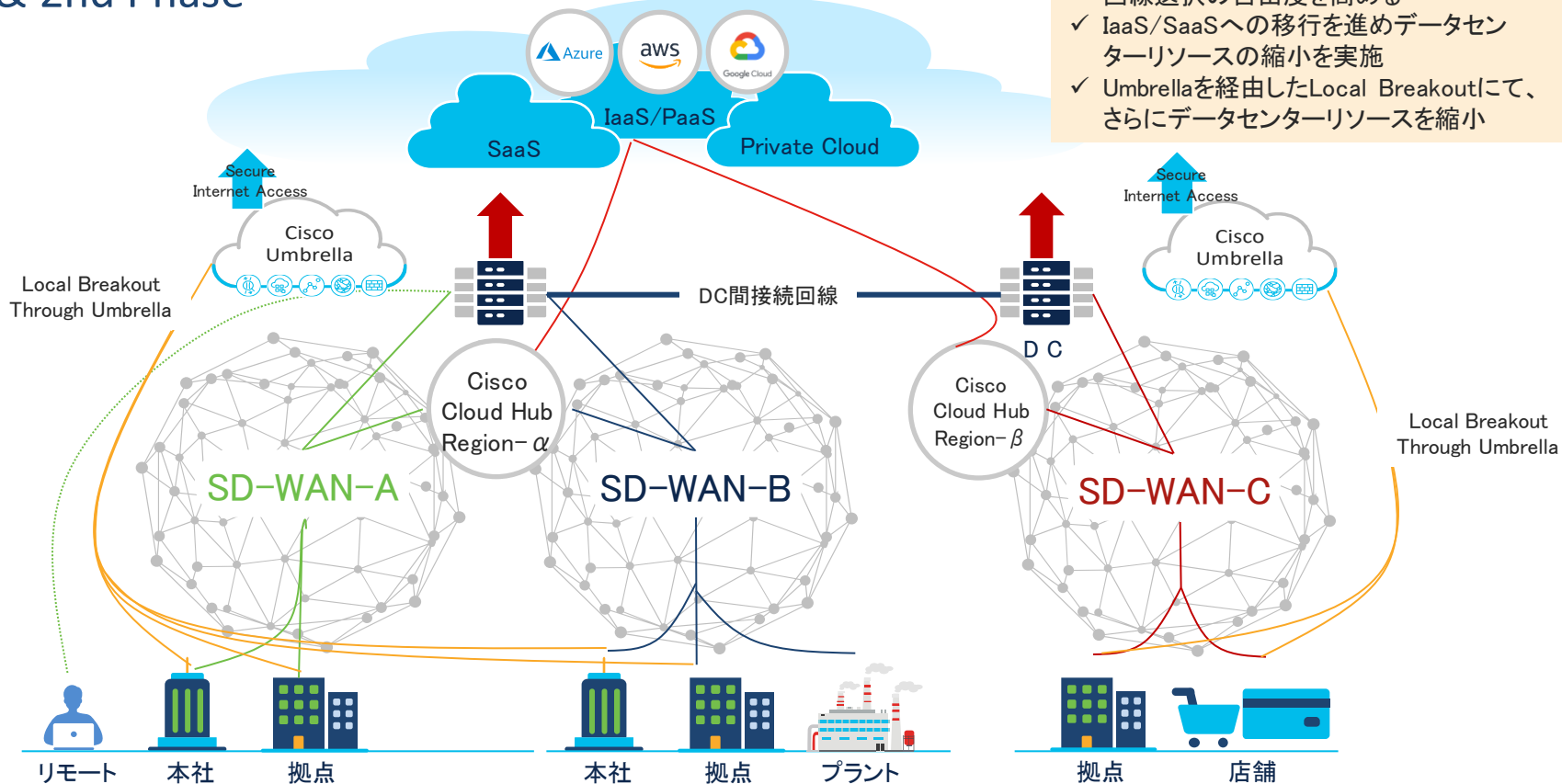
課題:

- トラフィック増加に伴い回線の増速必須
- データセンター設備の増強が必要
- 他のトラフィック増に影響されやすい環境
- キャリア依存のWAN構成
- 回線選択の自由度は低い



During replacement to SD-WAN & Umbrella SIG

- 1st & 2nd Phase -



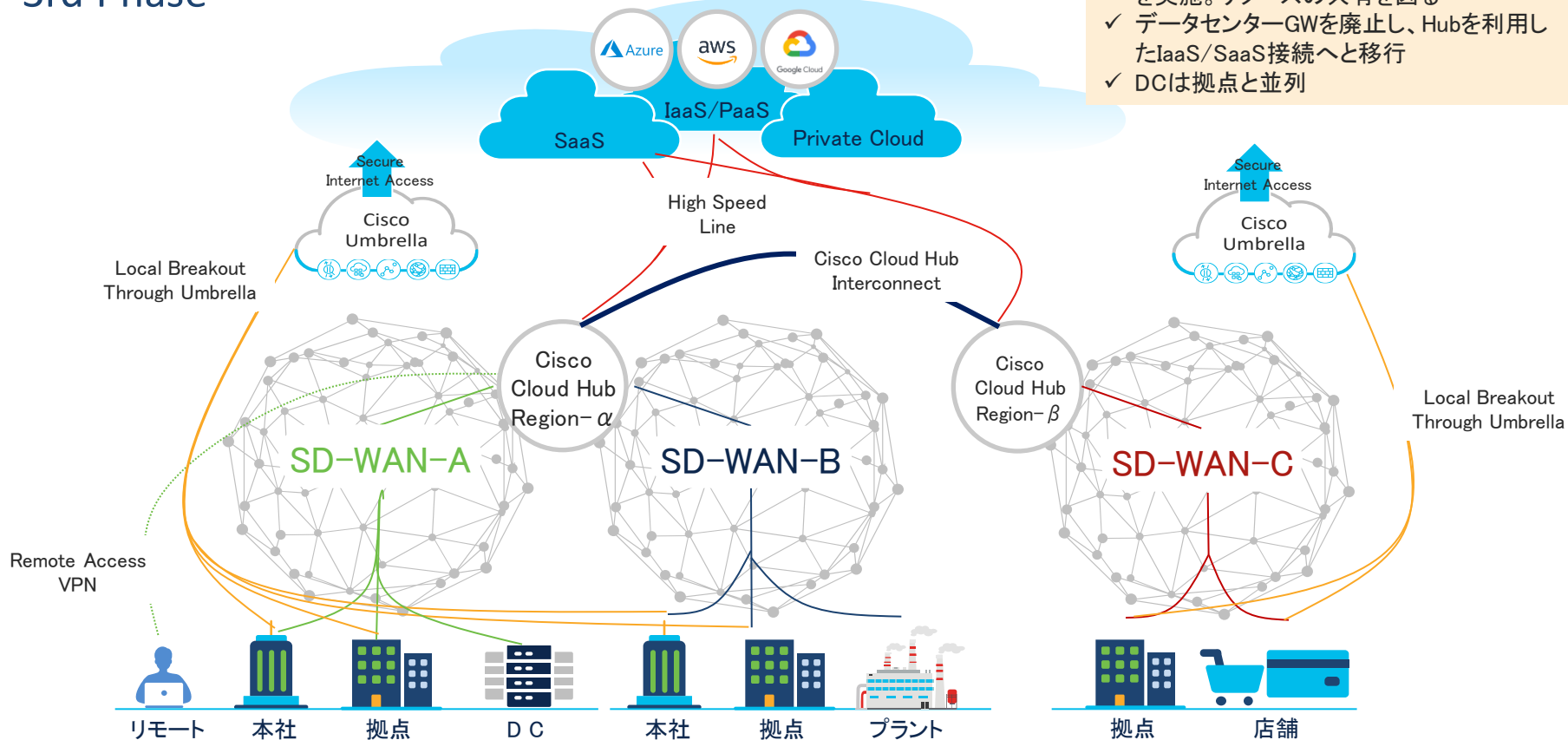
解決策:

- ✓ Cloud Hubを利用したSD-WAN化を進め、回線選択の自由度を高める
- ✓ IaaS/SaaSへの移行を進めデータセンターリソースの縮小を実施
- ✓ Umbrellaを経由したLocal Breakoutにて、さらにデータセンターリソースを縮小

During replacement to SD-WAN & Umbrella SIG - 3rd Phase -

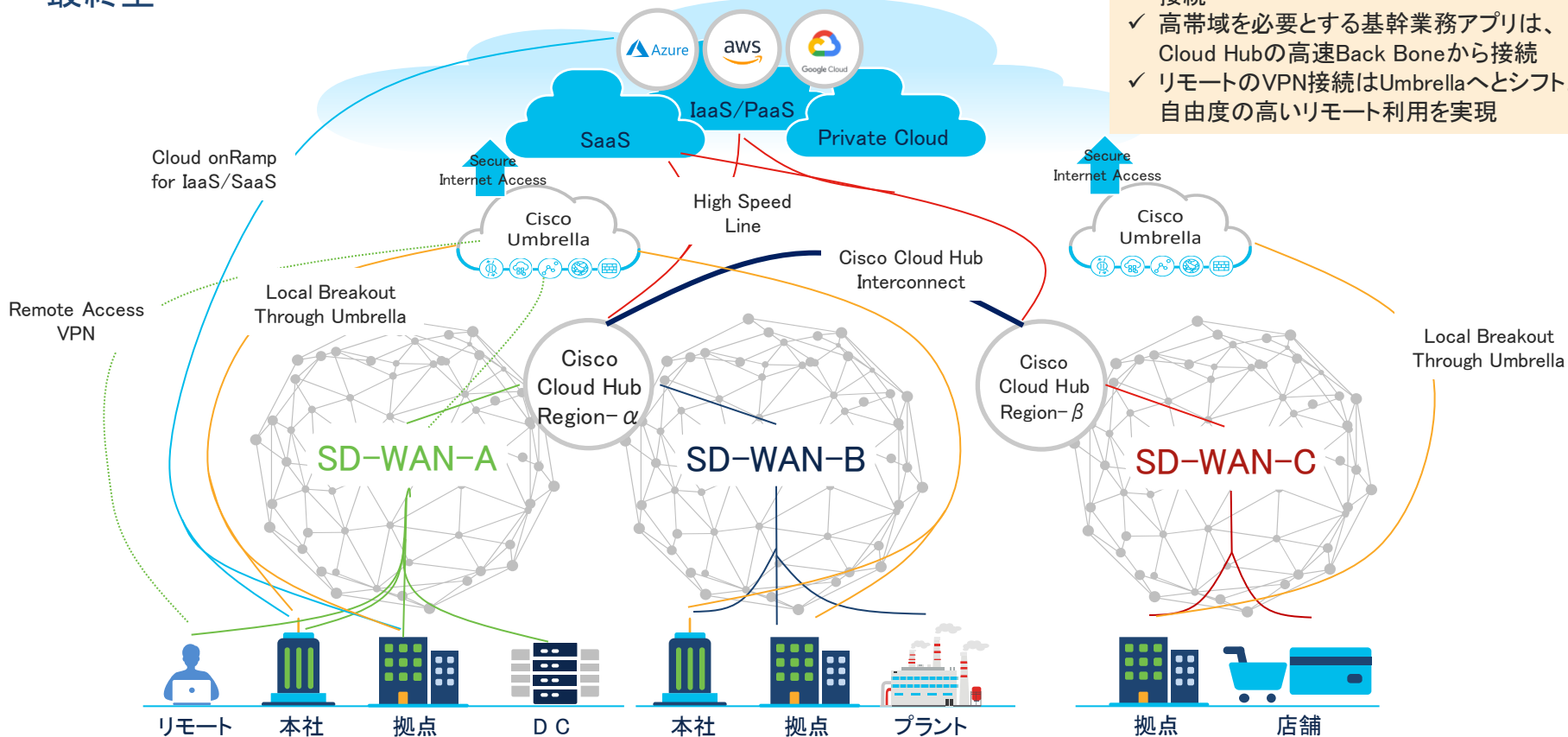
解決策:

- ✓ Cloud HubのInterconnectにて、WAN接続を実施。リソースの共有を図る
- ✓ データセンターGWを廃止し、Hubを利用したIaaS/SaaS接続へと移行
- ✓ DCは拠点と並列



Cisco SD-WAN & Umbrella SIG as a SASE

- 最終型 -



解決策:

- ✓ IaaS/SaaSの利用は拠点から直接に接続
- ✓ 高帯域を必要とする基幹業務アプリは、Cloud Hubの高速Back Boneから接続
- ✓ リモートのVPN接続はUmbrellaへとシフト。自由度の高いリモート利用を実現

その他のリソース

詳細については、次の URL を参照してください。

- cisco.com/go/sdwansecurity
- cisco.com/go/onramp
- meraki.cisco.com/products/security-sd-wan



The bridge to possible

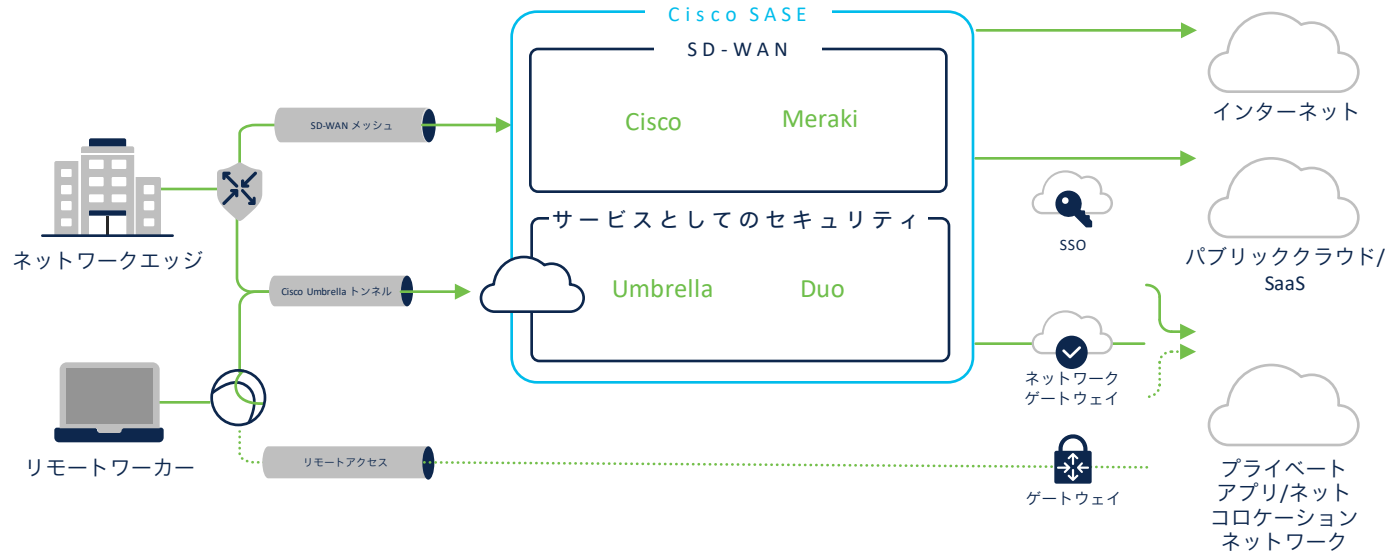
最適化した SASE 体験： 可視化によるユーザーデジタル パフォーマンスの向上

Jingbo Zhu

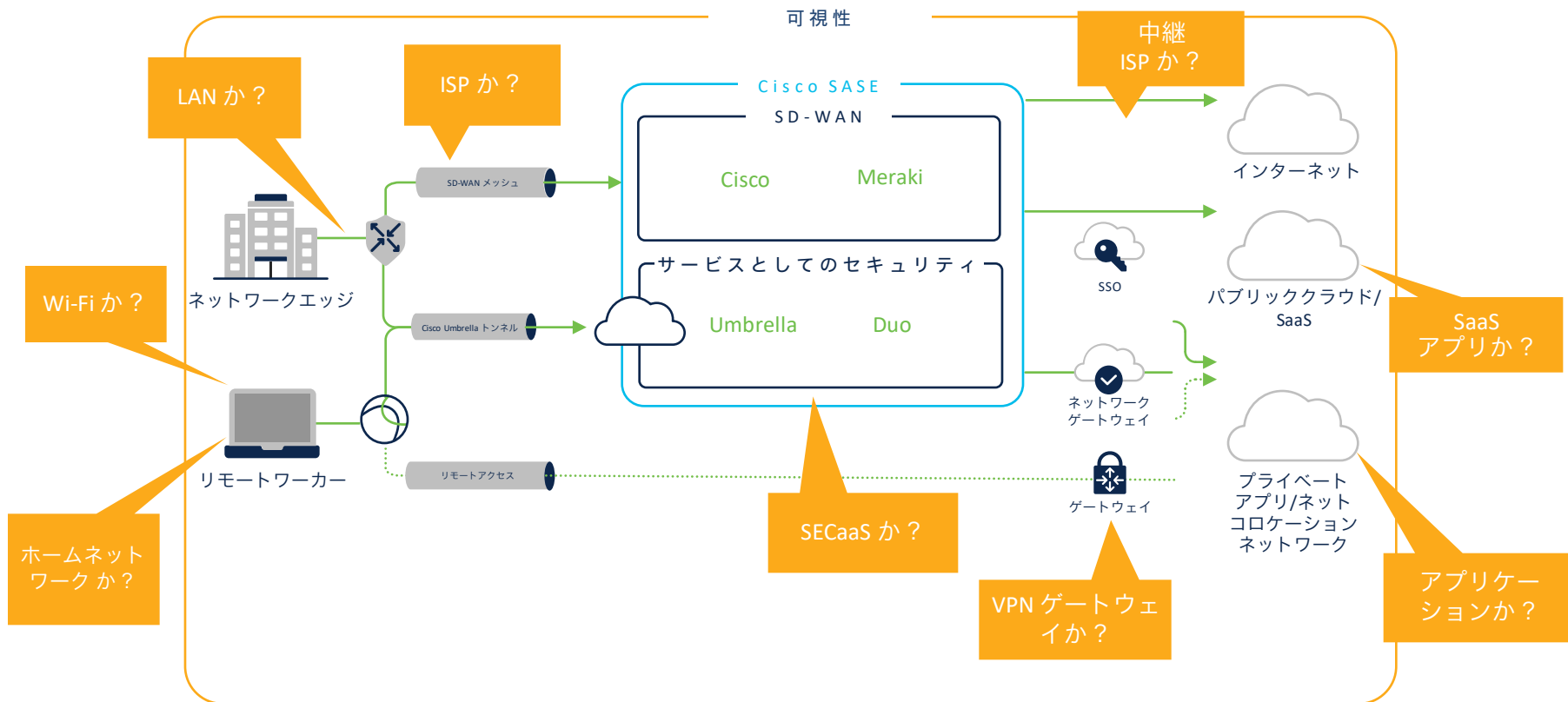
テクニカル ソリューション アーキテクト

ThousandEyes

Cisco SASE



問題発生した際にどのように切り分けるか



インターネット、クラウド、SaaS を可視化

ネットワークの可視化

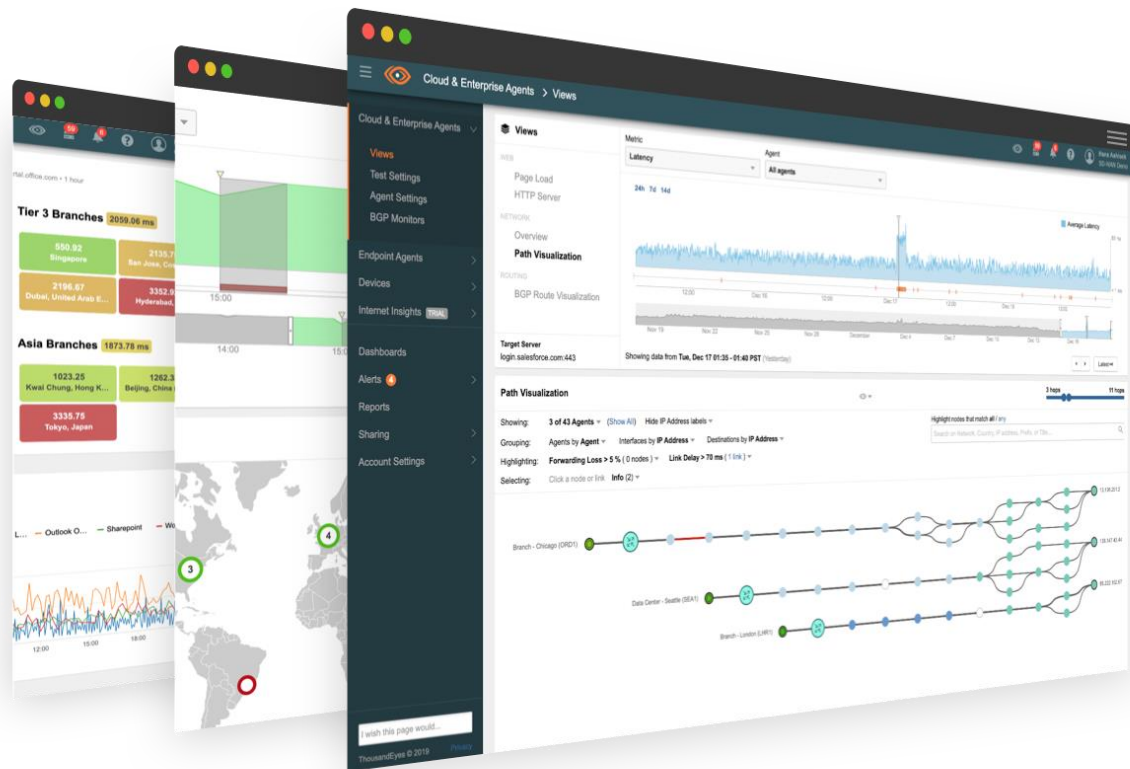
オーバーレイ、ホップバイホップ
アンダーレイ、ISPのパフォーマンス、
BGPルーティング

アプリケーション体感

SaaS、API、社内アプリケーションの
パフォーマンスとユーザー体感

相関性のある解析

アプリケーション、ネットワーク、
サービスの問題を迅速に切り分ける



ThousandEyes のアーキテクチャ



Cloud エージェント

世界の 200 以上の都市に
ThousandEyes が設置して管理している
グローバル分散エージェント。



ISP | ブロードバンド | クラウドプロバイダー



Enterprise エージェント

自社ネットワーク内のデータセンター、
支社、VPC に簡単にインストールできる
軽量なソフトウェアベースのエージェント。



シスコ | Docker | Linux



Endpoint エージェント

エンドユーザーのラップトップや
デスクトップにインストールされる
ブラウザベースのプラグイン。



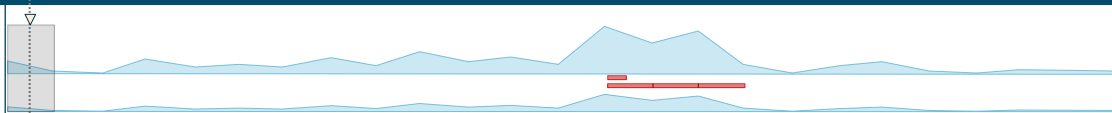
Apple | Microsoft

時間とレイヤを超えた可視化

ピンポイントでマルチレイヤ解析

アプリケーションの体感値

- Webシナリオテスト, ページロード



サーバ監視 (HTTP/DNS/RTP)

- HTTP アベイラビリティ, レスポンズ時間, スループット



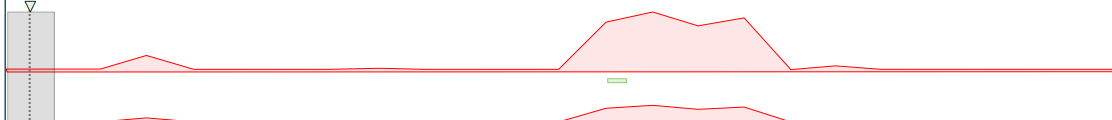
障害フェーズと領域の特定

- 地域, HTTP フェーズ, エラー



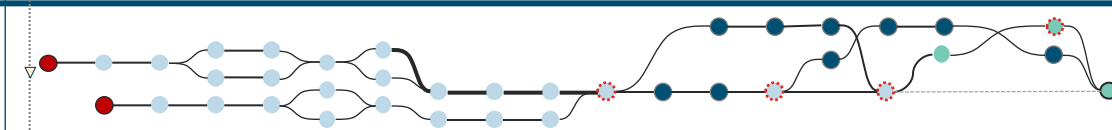
ネットワーク監視

- パケットロス, 遅延, ジッター



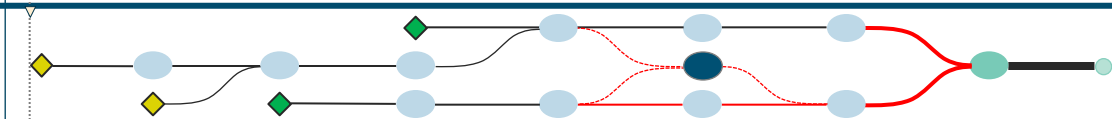
パスの可視化

- ホップ by ホップ; マルチポイント; 双方向
- ホップ毎のデータ
- 障害検知機能



BGP モニタリング

- 到達性, パスチェンジ, アップデート

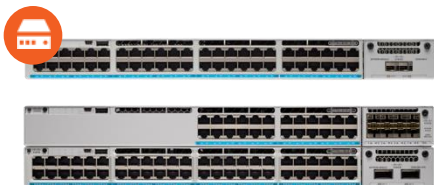


LAN から WAN エッジまでネットワーク全体 を見渡せる監視ポイント

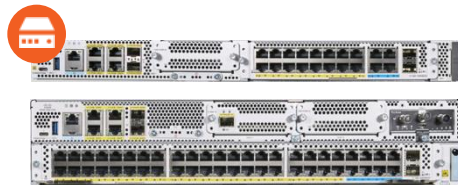
Cisco Catalyst、ISR



ThousandEyes



Catalyst 9300/9400
スイッチング



Catalyst 8300/8200
シリーズ エッジ
プラットフォーム



サービス統合型ルータ
(ISR) 4000 シリーズ

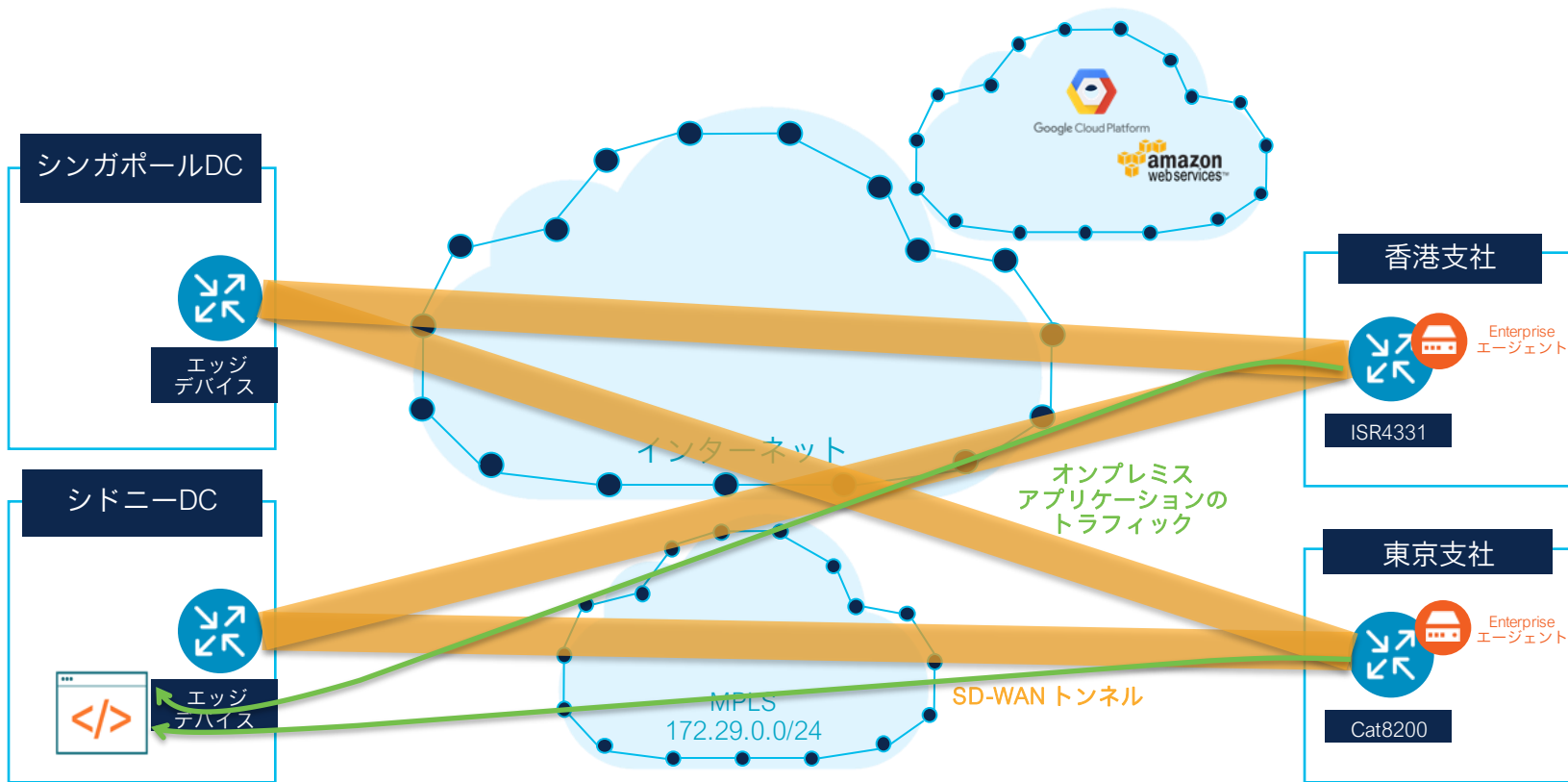
✓ ターンキー方式のエージェント
ホスティング（別のハード
ウェアは不要）

✓ スケーラブルなエージェント
ライフサイクル管理

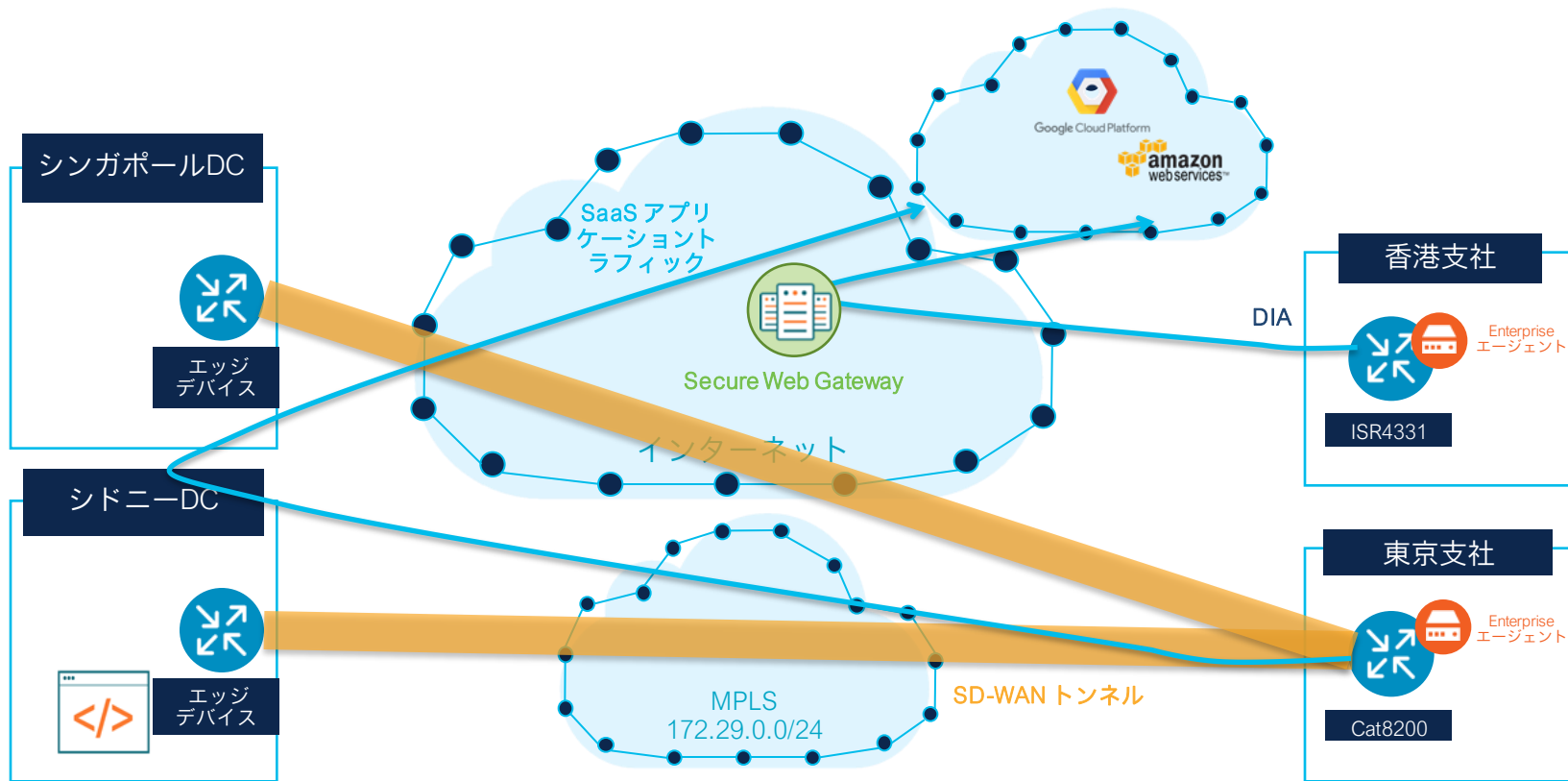
✓ 可視化の対象をインターネット、
クラウド、SaaS にまで拡大

セキュア エッジ

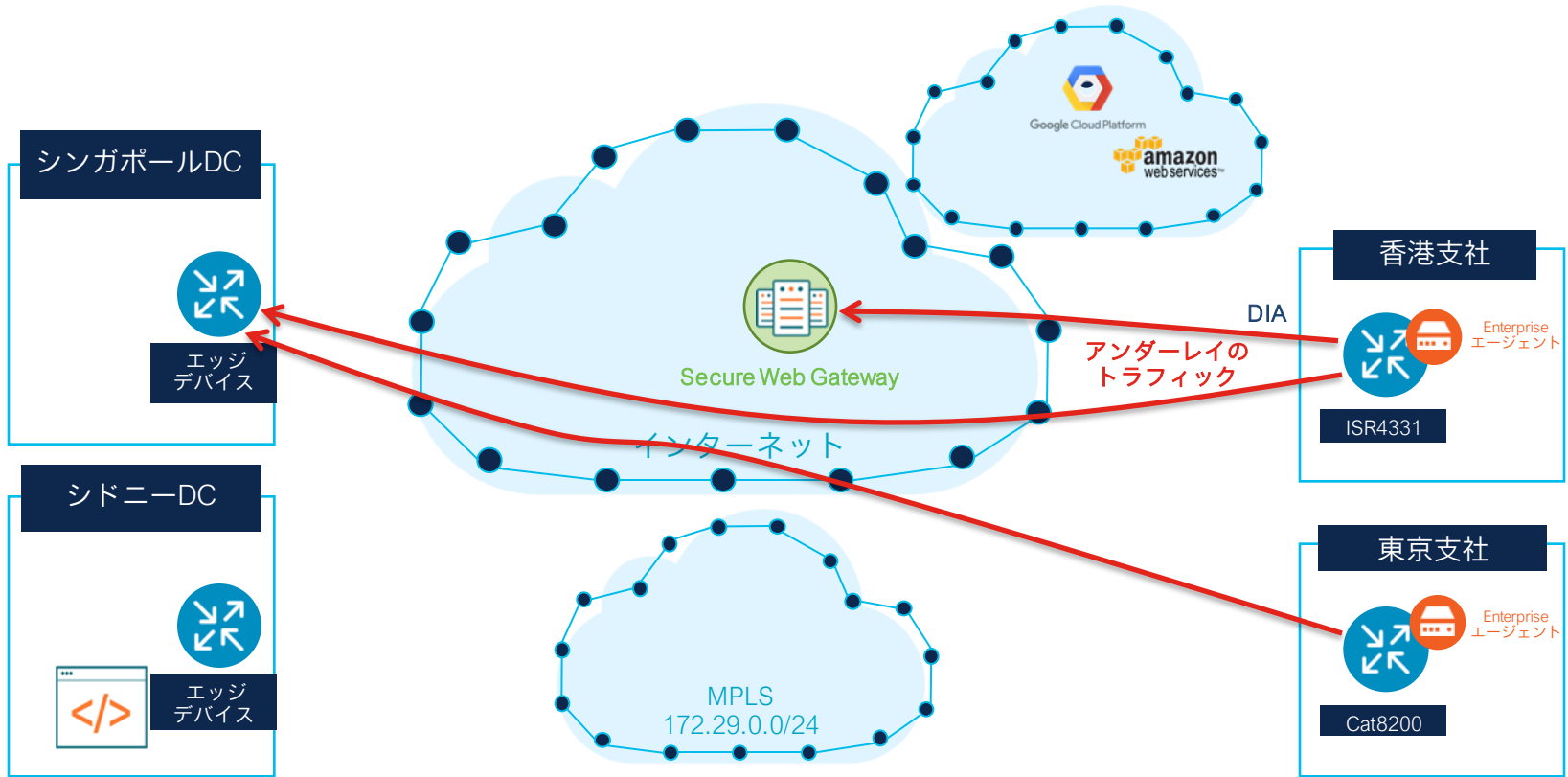
オンプレミスアプリケーションのトラフィックフロー



SaaS のトラフィックフロー



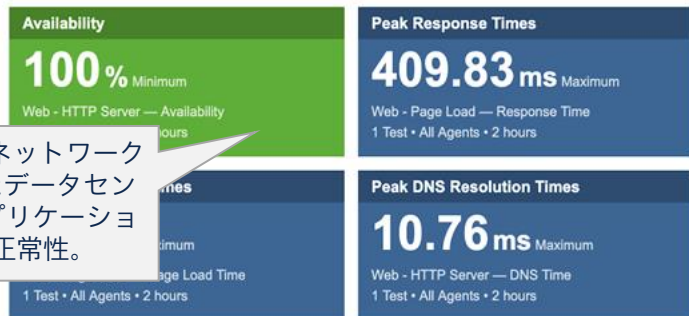
アンダーレイのトラフィックフロー



ダッシュボードの例

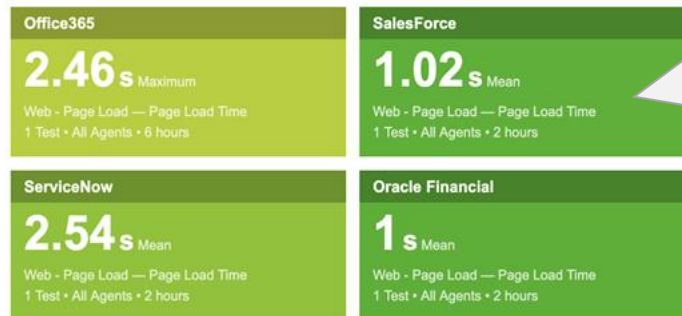
アプリケーションのパフォーマンス

Overlay - On-Prem Application Health



SD-WAN ネットワークを介したデータセンターアプリケーションの正常性。

Branch DIA - SaaS Application Health



DIA または SWG を介した支社から SaaS への全体的な正常性。各アプリケーションのメトリック。

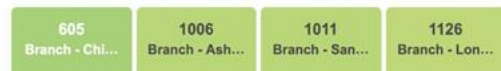
Branch DIA Health - Page Load

Web - Page Load — Page Load Time • 3 Tests • 2 hours

SaaS - DIA - Office365 - Branches 5715 ms



SaaS - DIA - Salesforce - Branches 1126 ms



SaaS - DIA - ServiceNow - Branches 4145 ms



Branch DIA Health - Response Time

Web - HTTP Server — Response Time • 3 Tests • 2 hours

SaaS - DIA - Office365 - Branches 307.89 ms



SaaS - DIA - Salesforce - Branches 921.57 ms



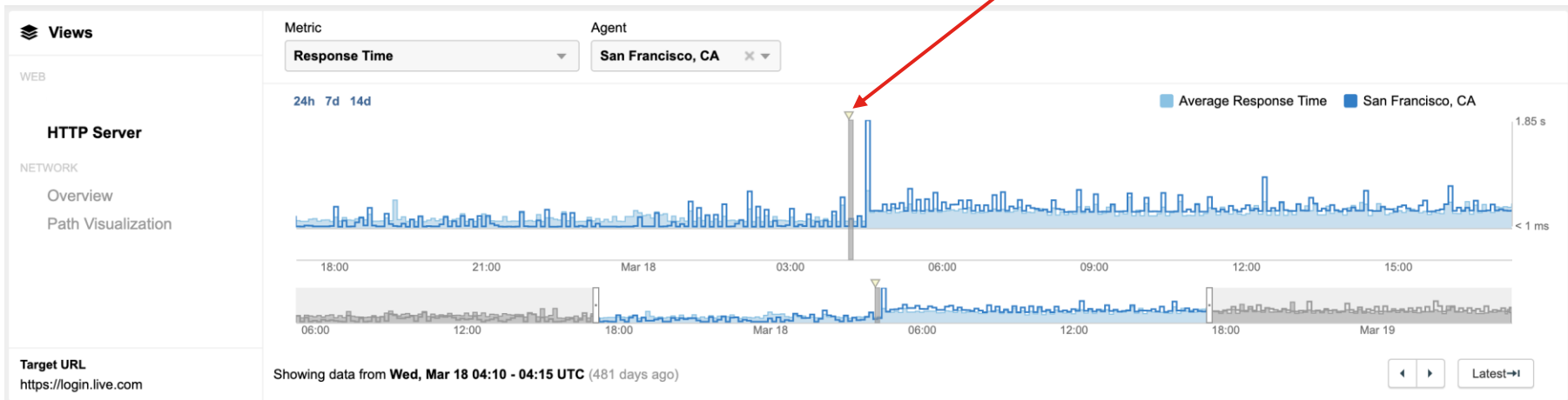
SaaS - DIA - ServiceNow - Branches 1042.67 ms



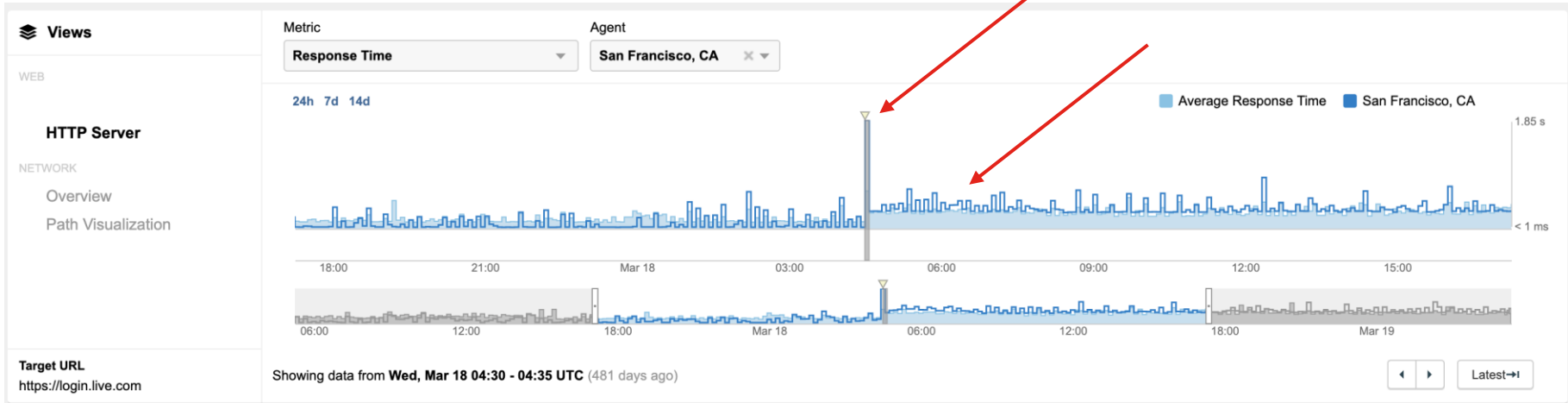
支社から SaaS アプリケーションまでの DIA または SWG の正常性。

クラウドネットワークの 監視事例

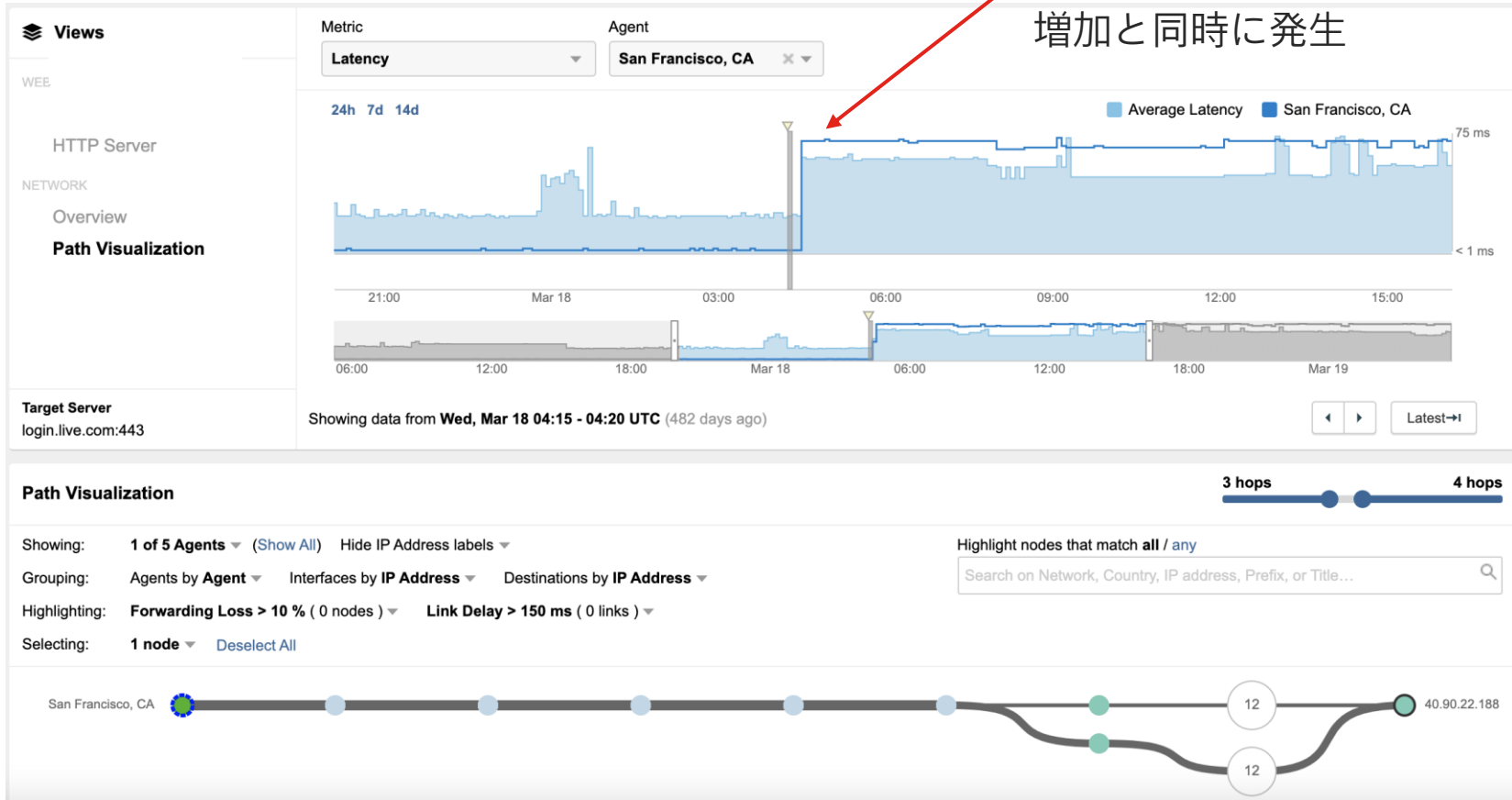
アプリケーションの 想定応答時間



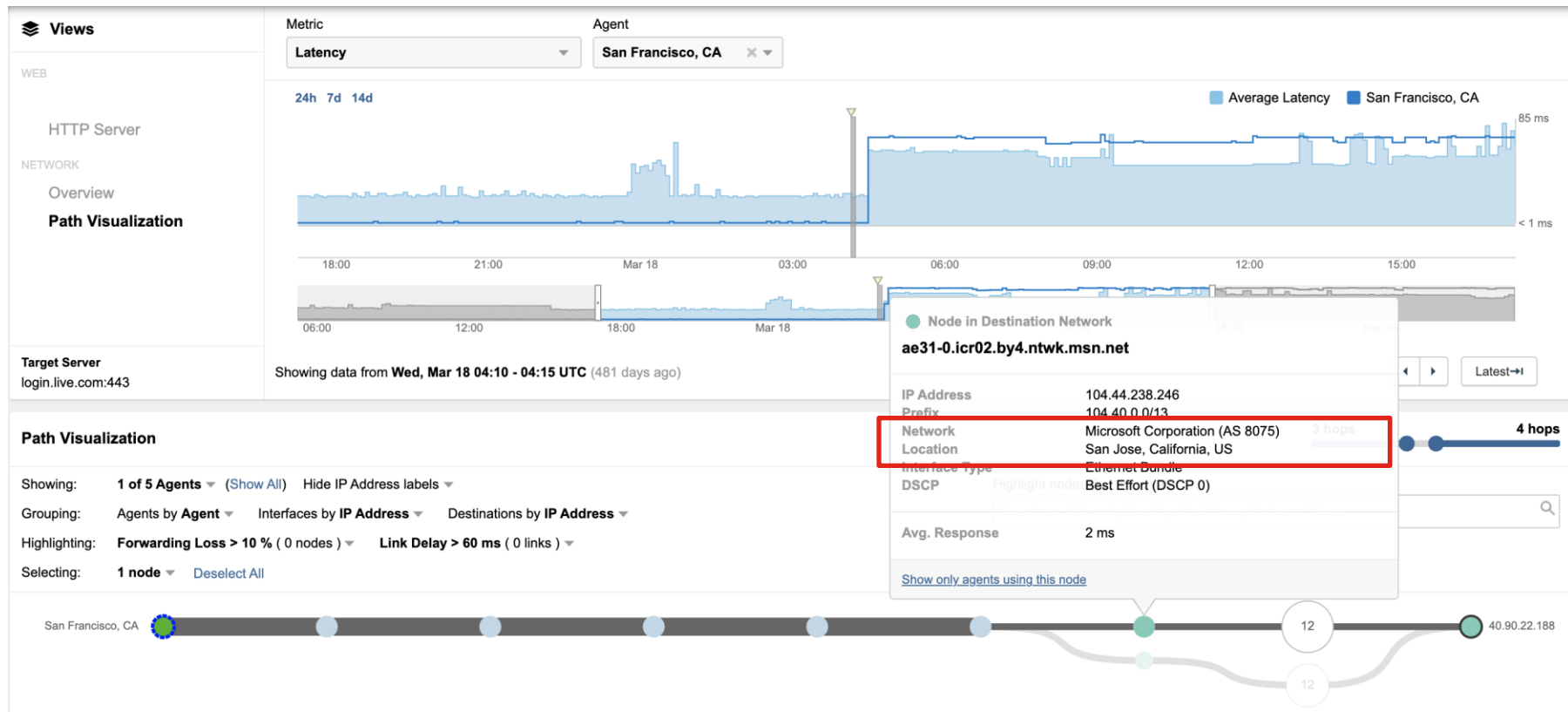
アプリケーションの 応答時間が急増



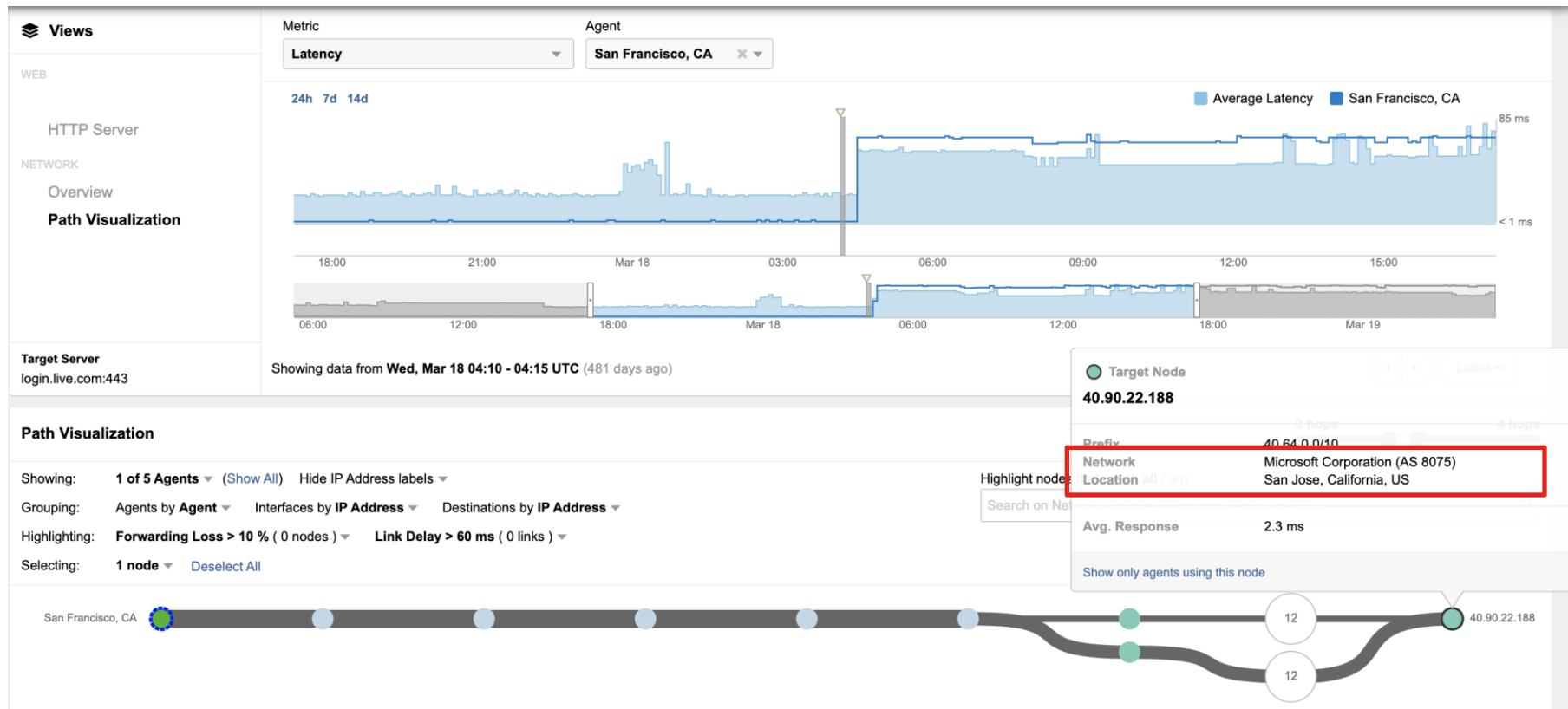
アプリケーションの応答時間の増加は、ネットワーク遅延の大幅な増加と同時に発生



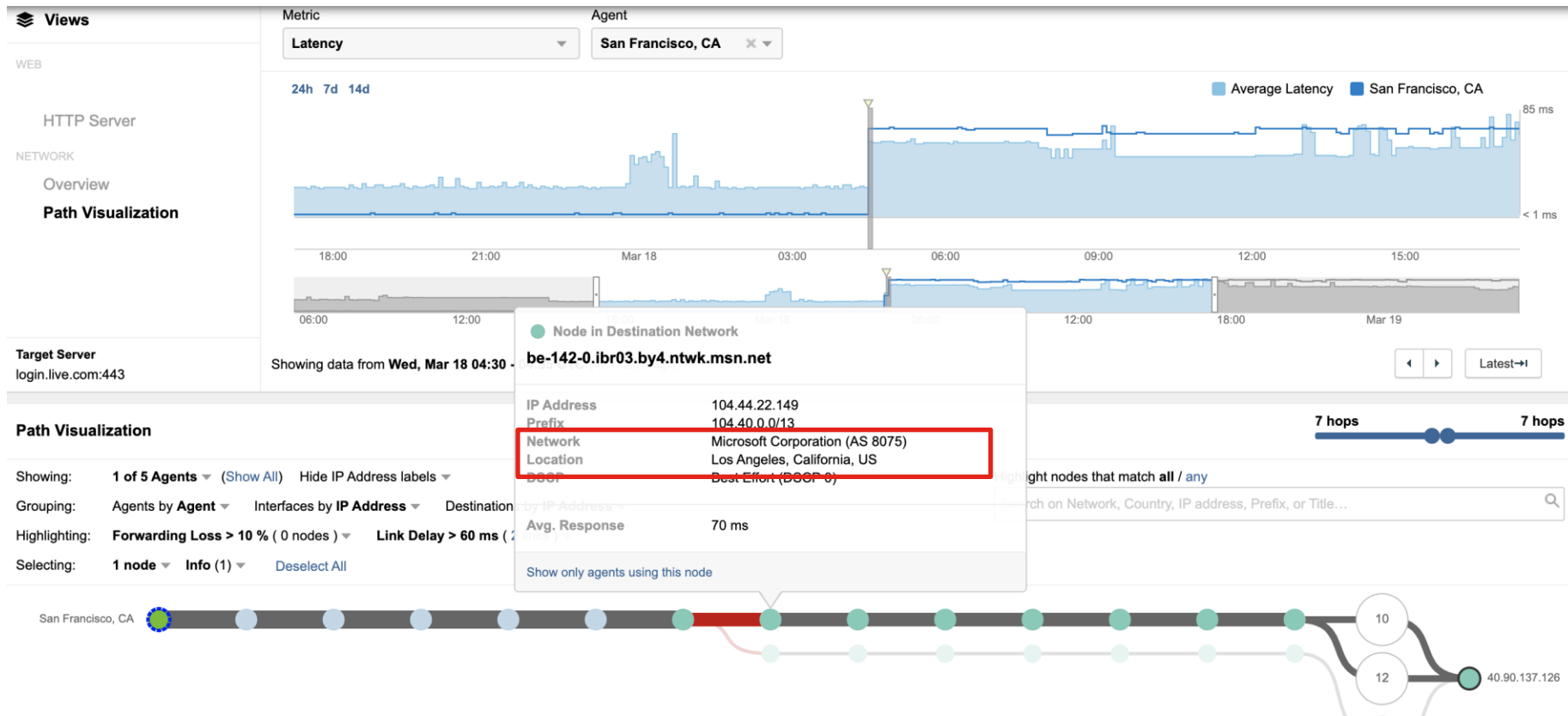
インシデント発生前：ローカル ネットワーク エッジ ノード



インシデント発生前：アプリケーションのフロントエンドサーバーはローカル



インシデント発生時：ロサンゼルスクラウドプロバイダーのネットワーク

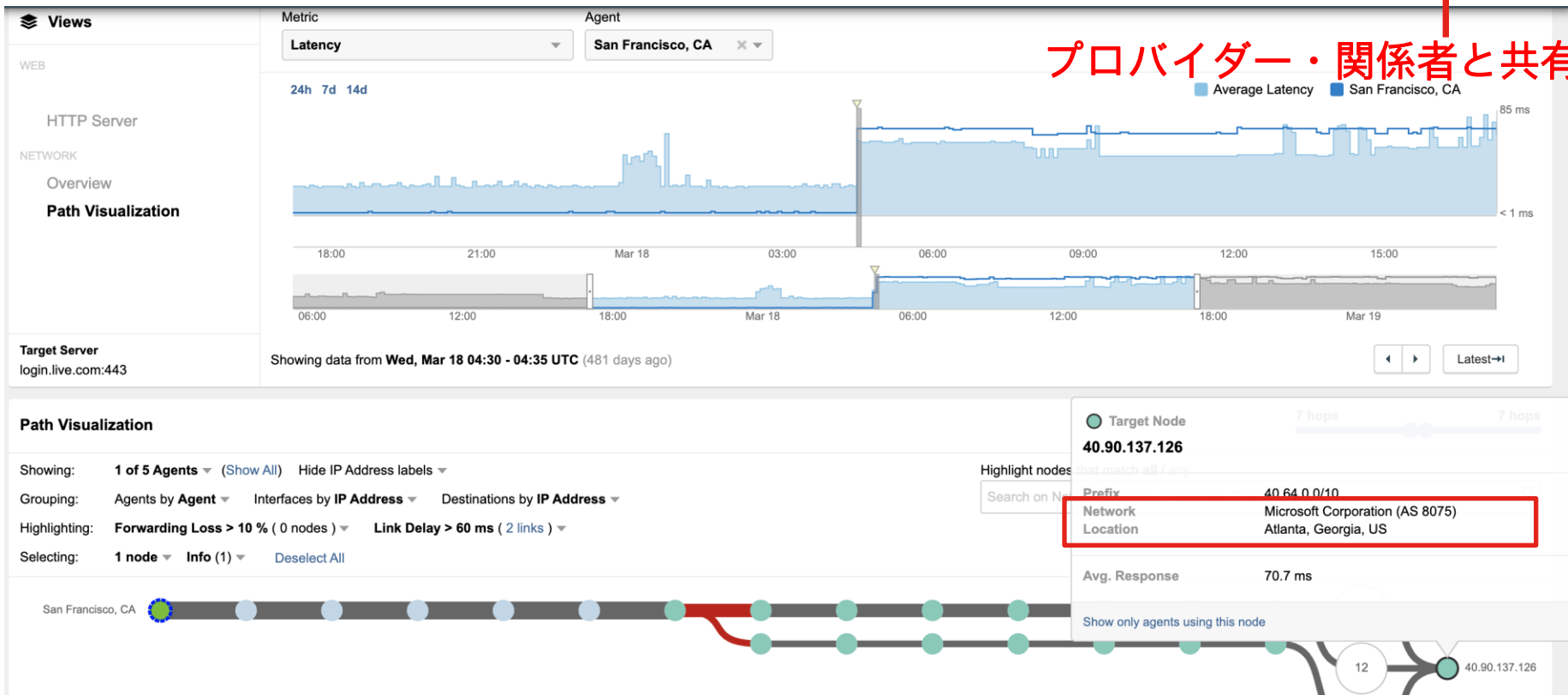


インシデント発生時：アトランタのアプリケーションサーバーに接続

Save

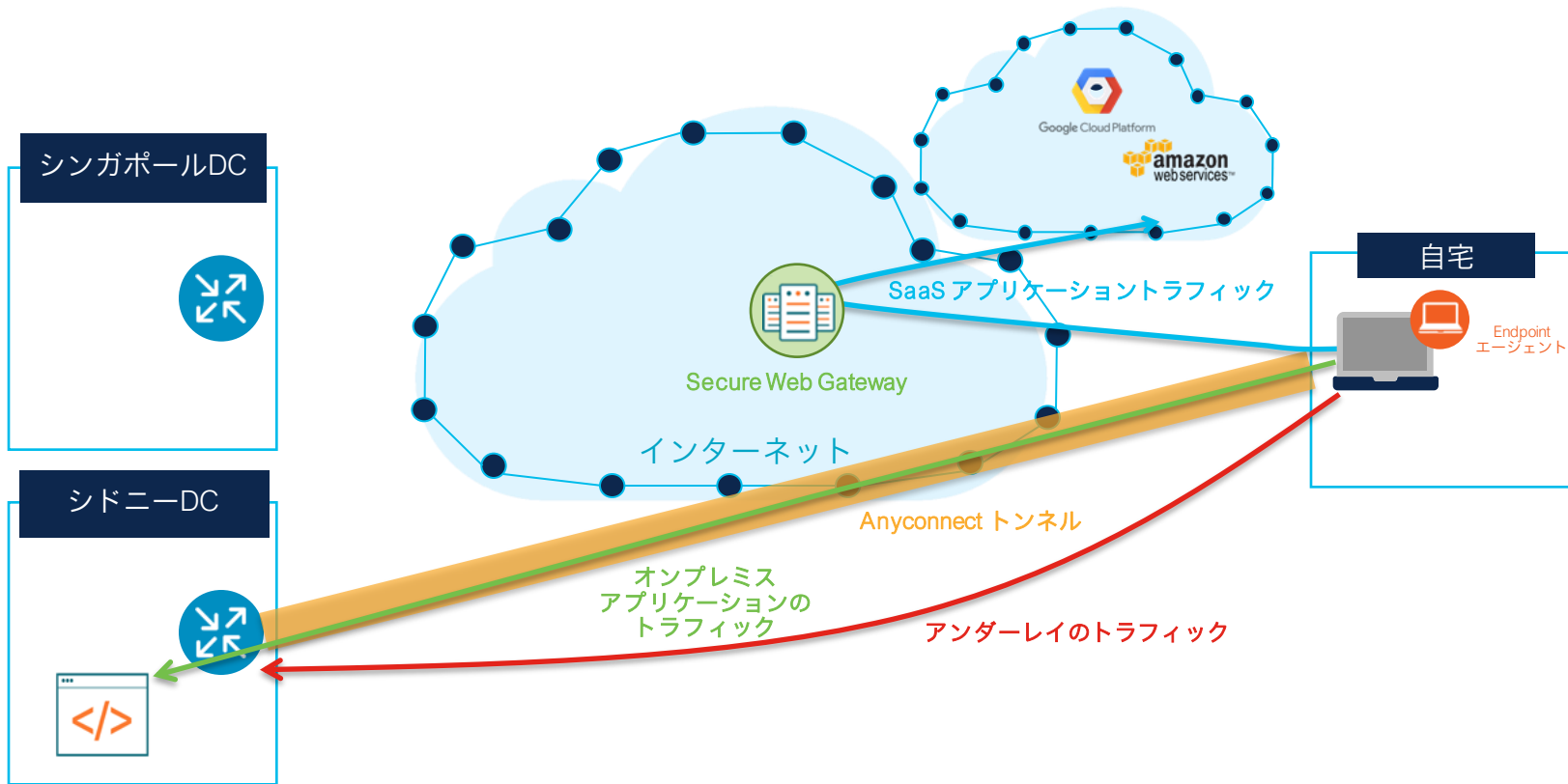
Share

プロバイダー・関係者と共有



リモートワーカーの場合

リモートワーカーのネットワークアクセス



ThousandEyes による新しい運用



ユーザーが体感するサービスへの繋がり具合やスピードを可視化・数値化



ユーザーからの問い合わせ前にいち早く問題を検知し、事象を把握



便利なツールで迅速に関係者への情報共有と問題の切り分けを実施

関連資料

- thousandeyes.com/ja/solutions/sase
- [SASE BDM](#)
- [SASE TDM](#)



The bridge to possible